

普及現地情報

発信年月日：平成 29 年(2017 年)6 月 16 日
所属名：湖東農産普及課
番号：F17006
部門分類：150 (野菜)
発信者名：岡田、木村

とよ坊かぼちゃん現地研修会を開催

当課では、とよさと特産物振興協議会とともに豊郷町の特産物であるミニかぼちゃである「とよ坊かぼちゃん」の産地化を進めています。

この「とよ坊かぼちゃん」は、手のひらサイズのかぼちゃで、1果 500g 程度で糖度が大玉カボチャに比べて高いという特徴があります。今年の栽培面積は約 170a で、すべて環境こだわり農産物認証を受けています。

昨年は約 9.5t の出荷がありましたが、知名度の浸透とともに需要が増加し、実需者から出荷量増を求められていました。また平成 29 年 4 月に第 3 回介護食品（スマイルケア食）コンクール（日本食糧新聞社主催）で農林水産大臣賞を受賞したことから、プリンに用いるとよ坊かぼちゃんペーストが不足する状態が続いており、ペーストについても大幅な増産が求められています。

産地として定着していくためにはより一層の収量向上が必要であり、普及計画化して 4 月より現地巡回をもとにした栽培情報紙の発行などを行なって、病虫害防除や肥培管理の徹底を図っています。今回は昨年良好な成績を収めた雨降野ファームのほ場で、増収技術の一つとなる追肥について、タイミングよく実施されるよう現地研修会を開催しました。

研修会は 7 名が参加し、開催し、追肥時期の樹の管理や、排水路の設置、病虫害防除についての研修を行いました。

今までのところ天候にも恵まれて生育は良好で、8 月から彦根総合卸売市場や京都市場、生協へ出荷される予定です。



開花期を迎えたとよ坊かぼちゃん



研修会でほ場を見学する参加者